
2年研究授業計画

東二番丁小学校 2学年担任 門澤 真紀

1 研究授業で目指す児童像

書かれている事柄や登場人物の気持ちに気付いたり想像を広げたりし、考えを伝え合ったり話し合ったりすることでさらに考えを広げたり深めたりすることができる。

2 児童の実態

国語の学習には意欲的な児童が多く、音読や漢字練習などにしっかりと取り組むことができる。しかし、授業に集中して取り組むことや指示を理解することが難しい児童もおり、個別の支援が必要である。身近なことについて話したり、大事なことを落とさないように聞いたりする力は、全体的にまだ十分でない。ペアで話すことは慣れているが、全体の場で自分の考えを話すことは一部の児童に限られている。課題に沿って自分の考えを持ち、話したいという意欲を高め、友達と話し合うことができるような指導を進めていく必要がある。

3 授業研究課題

- (1) 人物がしたことの手順を確かめ、場面の様子を比べ気持ちを想像する活動を通して、人物についての感想を友達同士で発表し合い考えを広げ深め合う授業。
- (2) 写真や挿絵と本文を結び付けながら大事な言葉や事柄の手順に気を付けて正しく読み取り、友達との交流を基に自分の考えを確かめたり振り返ったりして考えを深める授業。

4 授業技術課題

- ・分かりやすい発問や指示を行い、学習の見通しを持つことができるようにする。
- ・自分の考えや感想について、事柄の手順を考えながら話せるようにするための手立てを工夫する。